

第22回団体交流会(住み続けたいまち大阪狭山)グループワークまとめ(1班)

開催日時 令和元年10月26日(金) 13時30分~16時

参加者 板谷三郎、岡田泰幸、岡田義夫、金子誠治、橘長胤、手島宏子、長野祐子、中野学、
松嶋玲子、宮本明子、支援センター橋本巖、ファシリテーター吉田雅彦(順不同)

1. すぐ取り組めて効果が大と思われる事柄

1. 環境問題・ゴミ(プラスチックやビニール袋)等を減らす事に取り組む
2. 街をきれいにし、子供たちが生き生きと輝いて生きて行けるようにする
3. 健康づくり、教育に力を入れ、老若男女が寄り添いあい共感する
4. 次世代へ引き継ぐため、子供たちに対し住環境の大切さを継続して声掛けしていく

2. 今後の課題として

1. コミュニケーションを大切にしていく

例えば、*市の職員が地域に出向き市民の生の声を聞く

*住民の声が市や各地域に届くシステム作り

*高齢者問題として、自治会や老人クラブからの脱退や減少に対する

解決策の検討会を設置する

*大阪狭山市に観光課を設けて情報発信してもらいたい

*公共施設のバリアフリー化

*ボランティアグループの横の繋がりを強力にする

3. その他として

自然環境の整った美しい街と狭山池の良さをもっとPRする